

常盤台地区

「あいさつは言われてうれしい愛言葉」



社協だより

平成27年3月号

発行部数 2800部

編集・発行 常盤台地区社会福祉協議会広報部会

常盤台地区広報紙「社協だより」発行にあたって

常盤台地区社会福祉協議会会長 山口和秀



常盤台地区社協とは、地域内さまざまな福祉の問題を皆さんで議論、立案し、そして実践することにより、安全で安心な地域をつくっていくことを目指している団体です。

この目的に向かって現在地区社協を支えている多くの団体の皆さんが、それぞれの専門分野で地域の特性を生かした活動を続けています。しかしながら昨今の環境の変化は急速でその対応に苦慮しているところです。特に超高齢化は、福祉を受ける側だけではなく、担う側にも大きな負担となっています。

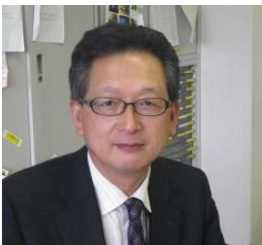
このような時代を迎えて、もはや福祉活動を一部のボランティアだけの活動では難しく、「全員が主役」となったの取組が、今求められています。

この「社協だより」では、活動内容をお知らせし、ご理解を賜りながらご協力を頂くとともに「担い手側」としての活動にも積極的にご協力頂きたく存じます。

また、地区社協では昨年ホームページを開設しました。新鮮な情報を適宜提供してまいりますので併せてご高覧ください。

常盤台地区社会福祉協議会広報紙発行に寄せて

保土ヶ谷区社会福祉協議会事務局長 富井 享



地区社協広報紙の発行おめでとうございます。

常盤台地区社協では、高齢者の会食会やサロン活動をはじめとして交流事業など、さまざまな事業に取り組んでいただいております。今年度は、さらに重点事業として広報紙の発行とホームページの立ち上げが掲げられています。紙面に情報発信とインターネットを活用した情報提供の両輪で、地区全体で広報活動の充実にも力を入れていることがうかがえます。

地域の方々に広く福祉情報を伝え、住民の意識を高めていくことは、やはり地区社協の重要な役割でもあります。同様に、この広報紙が多くの方の目にふれ、地域の活動に関心をもつ方が増えていくことで、今、各地区で進められている地域福祉保健計画の目標である “つながり支え合い 安心していきいきと暮らせるまち” につながるものと考えます。今後のみなさまのご活躍と、この広報紙が末永く続くよう、区社協としても応援させていただきたいと思っております。

平成27年度 常盤台地区民生委員・主任児童委員の紹介

民生委員・主任児童委員の活動について

アンジュの丘自治会



常盤台地区民児協会長 田中澄子

民生委員・児童委員は住民の誰もがこの地域で安心して住み続けることができるよう活動しています。お困りごとがありましたらお気軽に声をかけてください。プライバシーを守りながら関係機関につなげていきます。

北部自治会



原 正子
民生委員

人とのつながりを大切にし、暮らしやすく、思いやりのある地域づくりをめざします。

住好・西部自治会



長谷川加代子
民生委員

相手の立場になって物事を考え、より良い解決法を見つけ明るい未来につなげたい。

中部自治会



田宮照夫
民生委員

皆様と同じ目線で向き合い、見守りも地域の各コミュニティとゆるやかなつながりを持ちます。

東部自治会



鈴木初江
民生委員

隣・近所の声掛けを大切に、元気で明るい街づくりが皆様とできたらと思います。

峰岡三丁目町内会東



荻久保佑子
民生委員

地域の人や出来事に目を向けて、自分の出来ることからやっていきたいと思えます。

峰岡三丁目町内会西



小川洋子
民生委員

赤ちゃんから高齢者の見守り・相談が気軽にできる民生委員を目指します。

常盤台地区



北川有子
主任児童委員

毎月第2木曜に子育てサロン「バームクーヘン」を開催しています。遊びに来て下さい。

常盤台地区



鈴木房子
主任児童委員

新しく委員になりました。しっかりと役割が果たせるよう、笑顔でがんばります。

あんしん訪問

一人暮らし高齢者の方々などが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、民生委員や自治会長、友愛訪問員等が見守りや定期的な訪問をします。また支援が必要な場合はすぐに関係機関につなげていきます。



高齢者会食会

高齢者の方々の交流をはかるため、自治会町内会毎に定期的に会食会を開いています。秋には常盤台ケアプラザで合同のふれあい会食会を開いています。参加ご希望の方は地域の民生委員にお問合せください。



子育てサロン

毎月第2木曜日10時～12時
コミュニティーハウスで主任児童委員が子育て中のお母さん達の交流をはかる場を開いています。子育て支援サークルに来てもらうこともあります。遊びにきてください。ママ友をつくりましょう。



地区社協ってなあ〜に？

地区社協は、地域住民に最も身近な社協として地域の方々が「自分の地域は自分たちで良くしていこう」という気持ちで組織された任意の団体です。

なれたちは…

社協は、行政関与によって戦前から戦中に設立された民間慈善団体の組織・連合会を起源とし100年以上の歴史があります。常盤台地区社協は、1987年4月に設立されました。

地区社協の目的・活動

本来社会福祉事業は、国や市町村の行政が担当し、広く国民へ福祉サービスを提供するものですが、実際は十分なサービスが行き届いていません。そこで、地域の福祉を推進する目的で地区社協が作られました。

常盤台地区社協では、『高齢者が安心して暮らせるまちづくり』を目指し、地域ケアプラザを活動拠点として、主に民生委員の活動をサポートしています。

自治会名	賛助会費(円)
常盤台北部自治会	87,110
常盤台住好自治会	24,750
常盤台西部自治会	74,250
常盤台中部自治会	82,210
常盤台東部自治会	67,430
横浜常盤公園ヒルズ自治会	5,000
コスモ横浜常盤公園自治会	8,100
常盤台みどりヶ丘自治会	20,000
峰岡町三丁目町内会	120,000
アンジュの丘自治会	60,000
ピラージュ自治会	2,955
常盤台地区計	551,805

(資料:2014年3月 常盤台地区社協賛助会費)

組織・会員とは？

(組織の概念図)



地域住民の代表、社会福祉施設、民生委員児童委員、保健活動推進員、当事者組織など地域の個や団体が会員となり成り立っています。

社協の財源は？

地域の賛助会員の賛助会費、横浜市社協からの補助金、赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金の配分金、住民からのご寄付、行政からの委託料等が主な財源です。

常盤台地区のみなさまから頂いた会費は、昨年は『納涼盆踊り・ワイワイ祭り』をはじめとした連町行事への協賛金、高齢者向けサービス『あんしん訪問・食事会』などに使われました。

編集後記

今回『社協だより』発行にあたり、実に多くの方々に支えられ地域の福祉事業が成り立っている事を認識する好機となりました。特に民生委員・児童委員の方々は多岐にわたりきめ細かなサービスを提供しています。我々、広報部会も地域住民の一人として、福祉サービスを深く理解し関わることの大切さを知りました。本紙を通じ地域のみなさまに福祉事業へ興味・関心をもっていただければ幸いです。文末になります。発行にあたりご協力賜りました方々にお礼申し上げます。

(編集部一同)

広報部会

編集長

石川 源七

担当

橋本 文伸

古城 高之

大内田 義勝

齋藤 誠